

広告特集 経営戦略としての働き方改革

女性取締役の一人である東山恵里香経理事業部取締役が言う。当然のことながら、女性が働きやすい職場は、男性にとっても働きやすい職場であるはずだ。

また、同社は、女性の積極的な活用にも取り組んでいる。社員の半数以上が女性であり、管理職も3分の1以上が女性だ。取締役の構成も男女半々である。「産休や育休を取った後も大半の社員が復職しています。出産を理由とした離職はゼロです。それは単に制度が整っているからだけではなく、男性社員も含めた職場の理解と協力があって、産休や育休が取りやすい雰囲気があるからです。産休や育休を複数回取って働き続けている社員もいますし、子育てや介護などのため、時短勤務をしている正社員も数多くいます」

未経験者もプロに育てる
教育研修

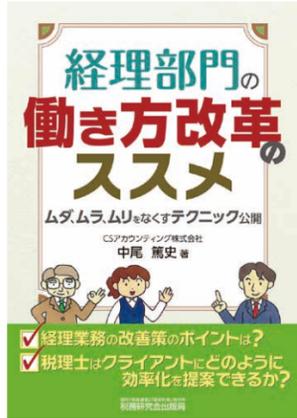
今はどんな企業にもコンピュータシステムが入っている。けれどもそうしたシステムを十分に使いこなせていない企業も少なくない

顧客の業務に合わせた行うオーダーメイド型がセールスポイントである。それも顧客から支持されている理由の一つだが、たとえば経理で使う帳票一つとっても、書式などは各社各様であることが多い。業務そのものの進め方や管理の仕方なども、顧客によって違う。そのため同社自身の業務は標準化しにくい側面があった。そこで同社は3年前から、個々の社員が自分の業務を改善し、有効だと思われるものは全社に提案するという形で業務改善活動を行うようになった。社員の投票で上位に入った提案を表彰する仕組みにしたことも功を奏し、専門的な業務の改善やシステムの改変、あるいはPCの使い方の工夫など、社員から

社が会計などの経験のない転職者も受け入れているが、そうした社員でも短期間で戦力になるという。「当社の場合、複数の企業の経理を見ることができ、定期的に業務を変えてマンネリ化しないようにもしています。それぞれのステージに適合した分野別の研修も行っていますから、比較的短期間で専門的な知識を習得することができ、経理、税務、人事などそれぞれの分野でプロと認められる人材を育てるのが当社の目標です」(東山取締役)

実際に即した業務改善に取り組む、業務の効率化、業務品質の向上に努めながら働きやすい環境を整え、その成果を顧客にも惜しみなく提供する。同社のこうした姿勢は、顧客からも高く評価されている。働き方改革は企業を強くするという好例が、ここにある。

お問い合わせ
CSアカウンティング
03-5908-3421(代表)
<https://www.cs-acctg.com/>



『経理部門の働き方改革のススメ』(税務研究会出版局)

長年にわたり経理業務のBPOサービスを提供してきた経験に基づき、経理業務のムダ・ムラ・ムリをなくす方法を解説。実際に裏打ちされているだけに説得力がある。著者は中尾篤史専務。



最近、RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)の導入も進んでいる。単純作業的な業務はできるだけ機械で自動化して、社員は付加価値の高い業務に専念できるようにしているのだ。もちろんこうした取り組みも業務改善や働き方改革に直結するものだ。

BPOサービスを
ワンストップで提供

会計・人事に特化したBPO(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)サービスをワンストップで提供できるのが、CSアカウンティングの大きな強みだ。会計や税務、労務、さらにシステムやオペレーションのプロフェッショナル人材が豊富にいるからこそ、ワンストップでサービスを提供できるのである。約200人の社員のうち、およそ50人は公認会計士や税理士などの有資格者だ。

業務改善活動の実践で
経験を積む

ただ、同社のBPOサービスは、

顧客の業務に合わせた行うオーダーメイド型がセールスポイントである。それも顧客から支持されている理由の一つだが、たとえば経理で使う帳票一つとっても、書式などは各社各様であることが多い。業務そのものの進め方や管理の仕方なども、顧客によって違う。そのため同社自身の業務は標準化しにくい側面があった。そこで同社は3年前から、個々の社員が自分の業務を改善し、有効だと思われるものは全社に提案するという形で業務改善活動を行うようになった。社員の投票で上位に入った提案を表彰する仕組みにしたことも功を奏し、専門的な業務の改善やシステムの改変、あるいはPCの使い方の工夫など、社員から



出されるさまざまな提案は年間1500〜1600件にも達するようになった。

「業務改善で効率が上がれば、労働時間の短縮、残業の減少など働き方改革にもつながる結果を生みます。実際、有給休暇の取得率はこの2年間で約20%もアップしました」

業務改善の成果について、中尾篤史専務取締役が語る。

BPOを通じて社会を支える
プロフェッショナル集団

会計・経理・人事のアウトソーシング企業であるCSアカウンティングが、自社の働き方改革に力を入れている。残業時間の減少、有給消化率の向上など成果も上がっている。効果の大きい業務改善策は顧客にも提案することで、コンサルティング機能の強化にもつながっているようだ。

CSアカウンティング



管理職の
3分の1以上が女性

最近、RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)の導入も進んでいる。単純作業的な業務はできるだけ機械で自動化して、社員は付加価値の高い業務に専念できるようにしているのだ。もちろんこうした取り組みも業務改善や働き方改革に直結するものだ。